

地域ぐるみの健康長寿のまちづくりについて

～健やかにっしん宣言を中心に～

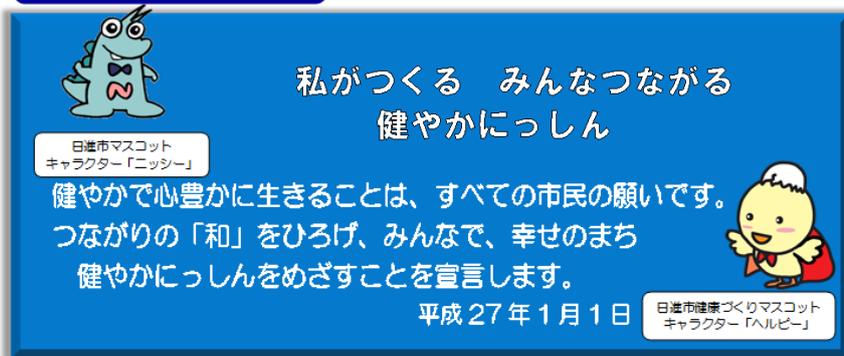
担当課：健康福祉部地域福祉課、健康課、保険年金課
教育部生涯学習課

健やかにっしん宣言に基づく健康長寿のまちづくりに向けた取組について

健やかにっしん宣言とは

- 市では、市政施行 20 周年を迎えた平成 26 年度に、市民とともにさらなる健康づくりを進めるため、「健やかにっしん宣言」を行いました。

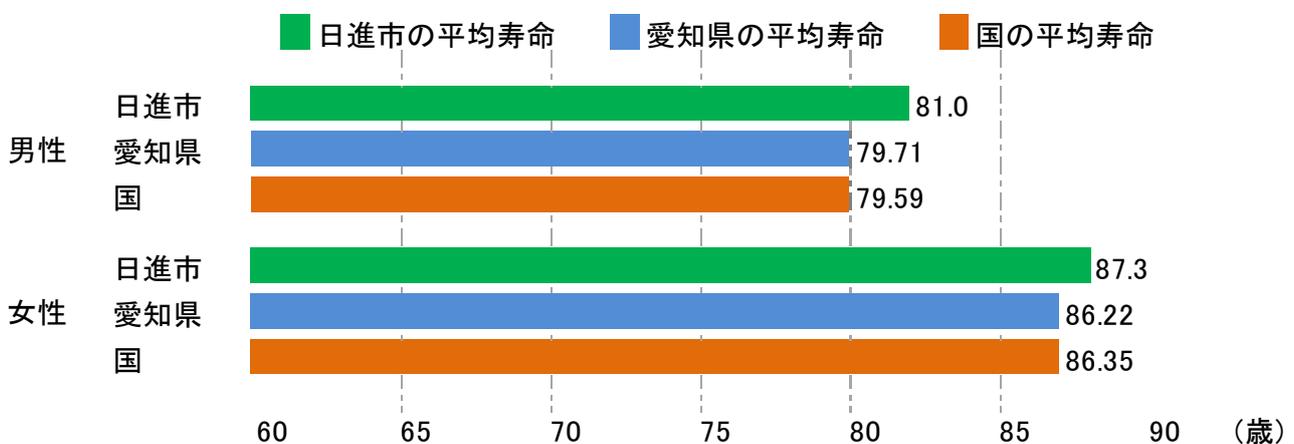
健やかにっしん宣言



宣言の策定にあたっては、市と市民が協働して作成を行いました。

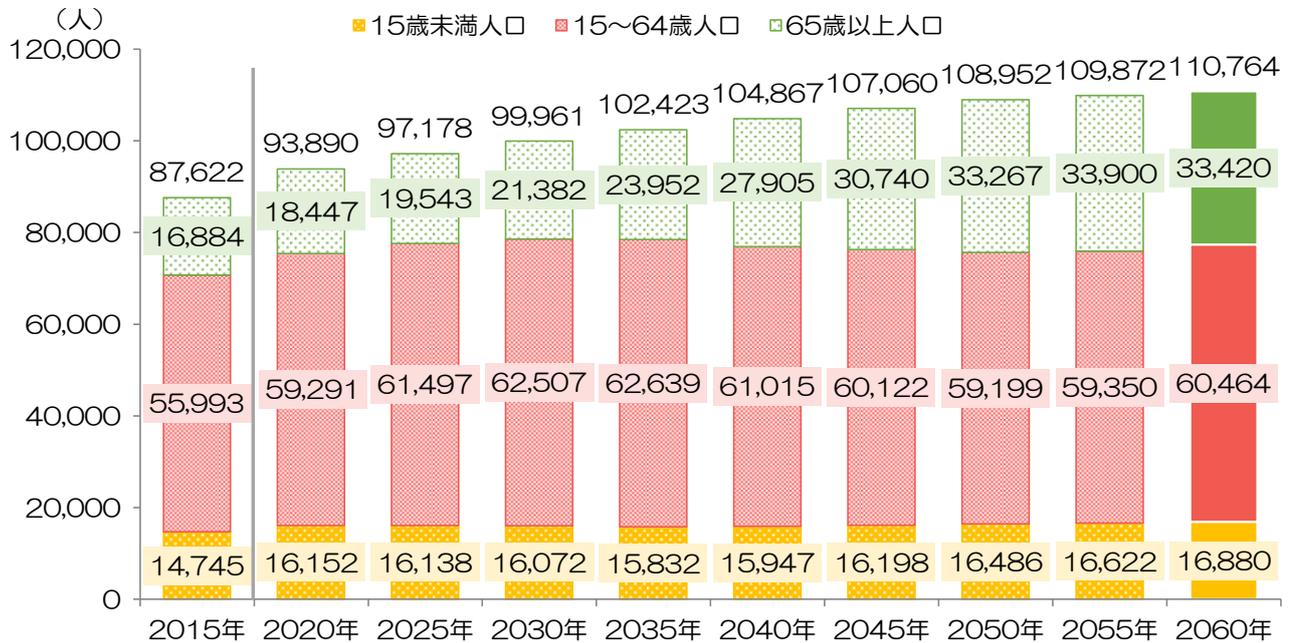
日進市における健康に関する状況等

- 平成 22 年の平均寿命は、男性 81.0 歳、女性 87.3 歳で、県内トップクラスです。



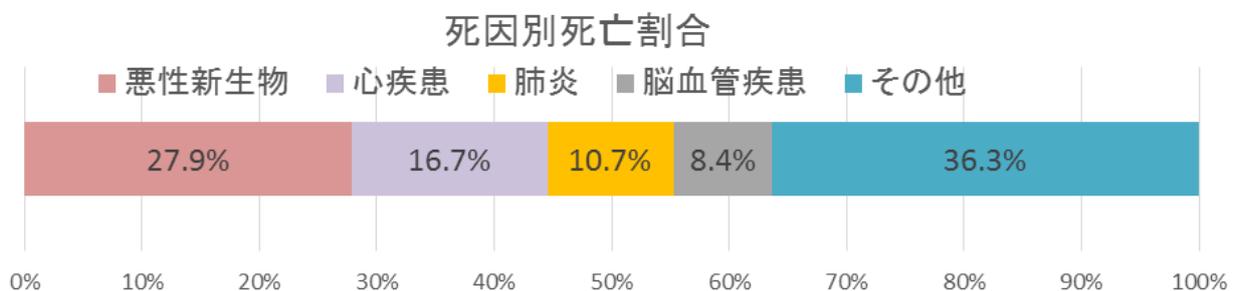
(厚生労働省「平成 22 年完全生命表」「市区町村別生命表」より)

- 2060年までの将来人口推計では、今後も本市の人口は増加傾向にあります。
- 年齢別では、2060年時点で、65歳人口は2015年の約2倍(33,420人)となり、高齢化が見込まれています。



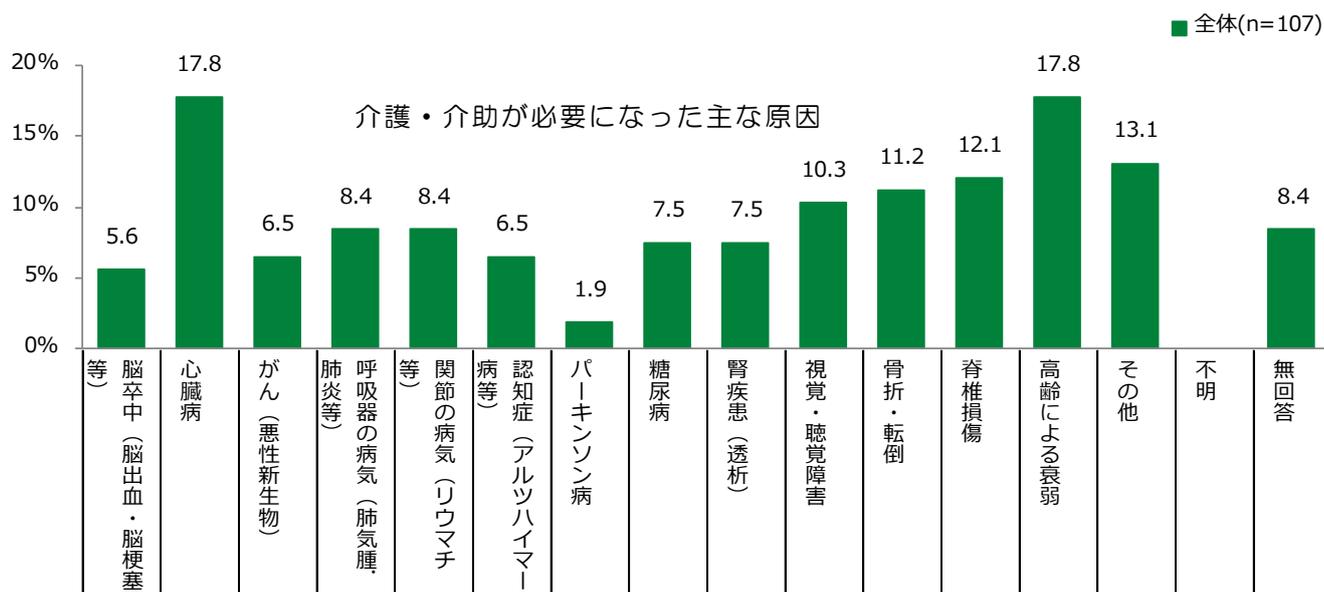
（「日進市総合戦略・人口ビジョン」より）

- 死因別死亡者数は、生活習慣病の悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が死因の5割を超えています。



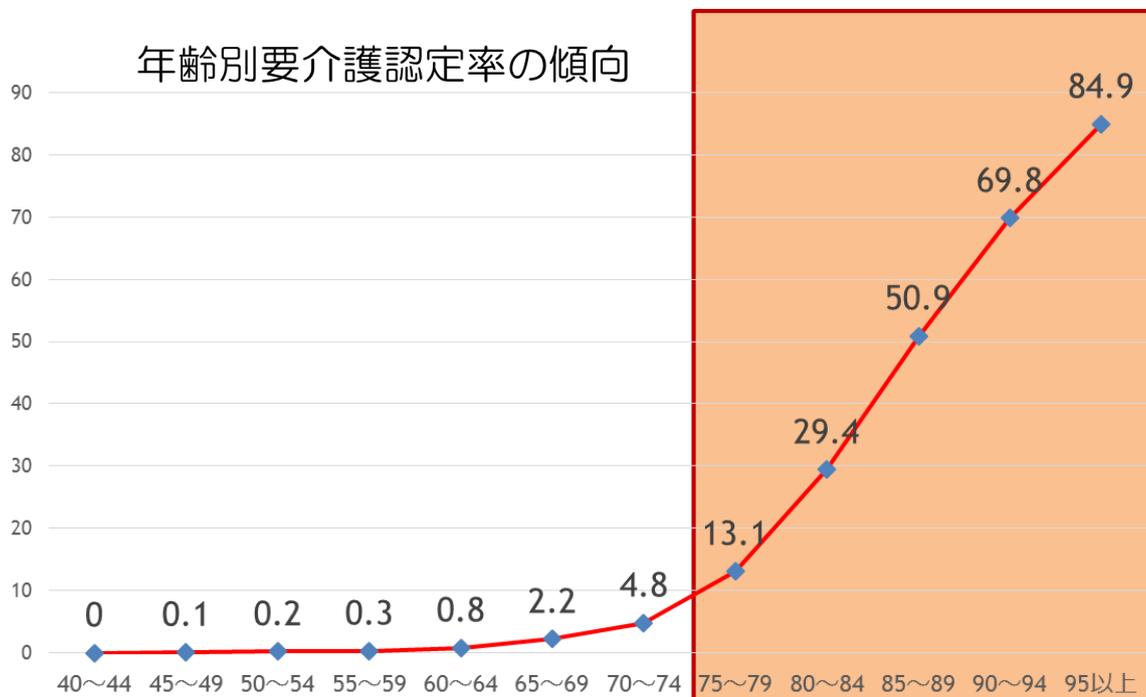
（「平成27年愛知県衛生年報」より）

○ 介護・介助が必要となった主な原因は、心臓病と高齢による衰弱が高く、次いで脊椎損傷となっています。



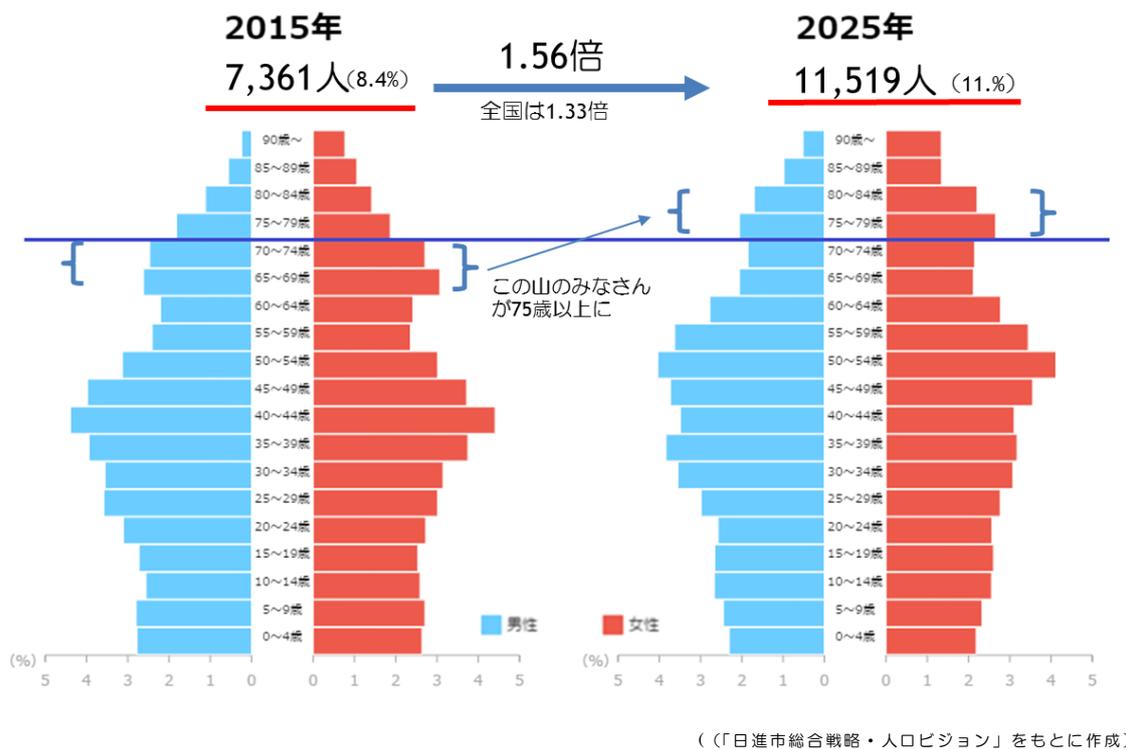
(「第7期にっしん高齢者ゆめプランアンケート結果」より)

○ 75歳以上の高齢者の要介護認定率は、急速に高まります。

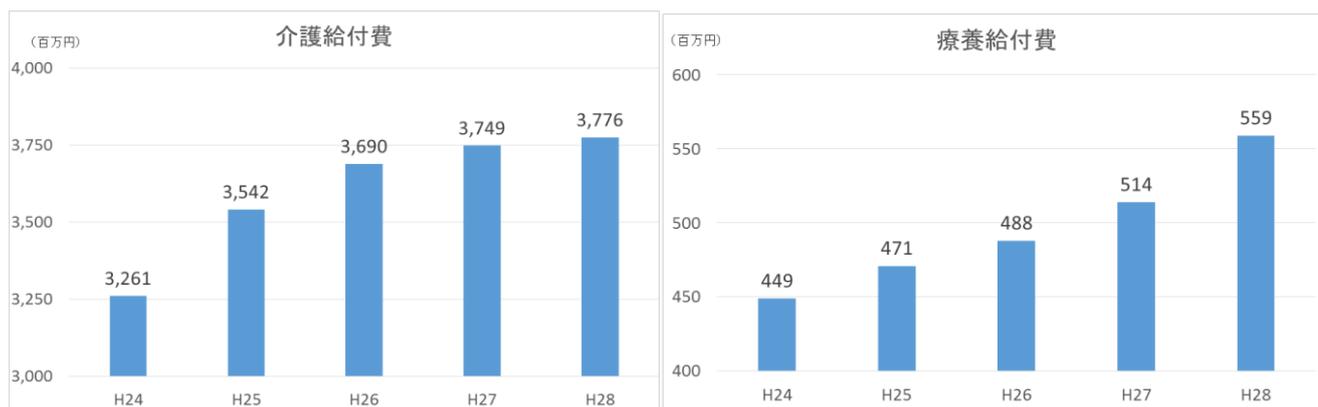


(「第6期にっしん高齢者ゆめプラン」より)

○ 介護、医療のニーズがより高まる 75 歳以上高齢者の人口が、わずか 10 年後には、1.56 倍になります。



○ 介護給付費および後期高齢者の給付費は高齢者の増加にあわせて増加傾向にあります。



施策の方向性

1 健康づくり

予防により可能な限り要介護、要医療とならないよう健康づくりを進める必要があります。

2 場づくり

健康づくりや介護予防への意識を高めるため、きっかけづくりと場づくりが必要です。

3 体制づくり

医療・介護等の専門職による支援の体制づくり、地域の支えあいによる幅広い支援（互助）の仕組みづくりが必要です。

日進市における主要な取組

1 健康づくり

○介護支援ボランティア事業（「にっしんおたっしゅボランティア」）

高齢者が介護施設等登録施設でボランティア活動を行った際にポイントを付与し、貯まったポイントを交付金などに交換できる制度。地域貢献や社会活動を通して、健康づくりを推進する。（登録者：96人）

○にっしん健康マイレージ事業

健康づくりへの動機づけとして、愛知県と協働で実施。事業のPRを行い、健康づくりに取り組み、一定のポイントを獲得した者に、県内の協力店で特典が受けられるカードを交付する。平成28年度は511枚のカードを交付した。

○生活習慣病重症化予防事業

市国民健康保険の被保険者で特定健診を受診した者のうち、糖尿病の要治療者を訪問し受診勧奨を実施する。

平成28年度は対象者14人に個別訪問し、3人の受診につながった。

2 場づくり

○つどいの場形成事業

つどいの場を推進するため、運営マニュアルや啓発グッズの作成、市内の市民活動団体を紹介するガイドブックを作成した。また、地域活動に関心がある方を対象とした人材育成講座を開催する。

○つどいの場づくり事業

つどいの場の開設に伴う環境整備や健康づくり事業に必要な経費等に対して補助金を交付し、つどいの場の開設・運営を支援する。(つどいの場：56箇所)

○にっしん体操推進事業

地域で気軽に立ち寄れる運動の場として「にっしん体操スポット」の立ち上げを支援する。平成28年度末で16箇所。他に保育園等への出前講座や体操指導者養成教室を実施する。

○高齢者学校事業

市内の小学校等で「いきいきシルバースクール」を開催する。平成28年度は小学校2校及び旧市川家住宅で開催し、延べ692人が受講した。

3 体制づくり

○在宅医療・介護連携システム導入事業(「健やかにっしん・ヘルピーネット」)

地域包括ケアシステムの構築に向け、在宅療養生活を支えるため、医療・介護関係者間での速やかな情報提供や情報共有が可能となるよう、ICTを活用した連携システムを導入する。(登録者：162人)

4 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

① 足腰おたっしゃクラブ(運動器の機能向上事業)

生活行為の改善を目的として、3ヶ月12回を1サイクル(最長2サイクル)とする運動プログラムを中心とした教室を実施する。

【平成28年度】開催コース：3コース、参加者数：38名

② 健口健食べんきクラブ(栄養改善・口腔機能向上事業)

生活行為の改善を目的として、6ヶ月10回を1サイクルとする栄養改善・口腔機能向上プログラム(一部運動プログラムを導入)を中心とした教室を実施する。

【平成28年度】開催コース：1コース、参加者数：9名

(2) 一般介護予防事業

① ゆうゆう体操教室（運動器の機能向上事業）

運動器の機能向上を目的に、各地域包括支援センターにおいて月1回の運動教室を実施する。

【平成28年度】開催回数：36回、参加者数：延べ463人

② オープン回想法事業（認知症予防事業）

認知症予防を目的に、福祉情報センターにおいて、グループ回想法を自由参加形式で実施する。

【平成28年度】開催回数：49回、参加者数：延べ393人

③ つどいの場への専門職派遣（運動、栄養、口腔、認知症等講師派遣）

地域におけるつどいの場（ふれあいいいきいきサロン等）に講師派遣等を実施する。

【平成28年度】

ア	理学療法士（転倒予防教室）	12箇所
イ	音楽療法士（音楽療法）	12箇所
ウ	回想法講師（グループ回想法）	10箇所
エ	栄養士（栄養講座）	10箇所

今後の方向性

- 「つどいの場」は、住民主体の運営によって、社会参加・生活支援・介護予防を一体的に進めます。「健やかにっしん宣言」のもと、「つどいの場」を拡充して、住み慣れた地域で「健康づくり」をきっかけとした「地域づくり」を進め、「ひと」「まち」「社会」の健康をめざします。
- 健康づくりへの意識づけのため、「にっしん健康マイレージ」を引き続き実施します。平成 29 年度は対象者を 18 歳以上から 16 歳以上に引き下げたほか、家族・友人と一緒にチャレンジした際にポイントを付与することとしました。
- 地域での健康づくりを進めるため、引き続き「にっしん体操スポット」の立ち上げ支援を実施します。地域で体操を行う指導者養成講座について、平成 29 年度は運動推進員養成講座と合わせて開催します。
- 生活習慣病の重症化を防ぐため、市国民健康保険の特定健診の保健指導実施率向上を目指すとともに、引き続き糖尿病患者への個別訪問を実施します。